

総務

合併協議会関連経費について

〔説明〕四月二十一日に開催された首長会議で、一市三町の合併に向けて調査研究をする任意合併協議会の設置が確認された。また任意協議会の委員数は、当初三名ずつの予定だったが、各自自治体五名ずつとするこ

とで確認した。

〔質問〕任意協議会の回数や協議会での検討内容は。

〔答弁〕任意協議会四回、小委員会三回の計七回を予定。合併の方式や期日など四十九の協定項目について議論する。その中で合意した自治体が法定協議会に進む。

〔質問〕任意協議会の委員数は、佐賀市は一市三町一

村で合併したばかりなので、旧市町村から委員が選出できるように五名にできないかと提案した。なぜ他の町も五名ずつになったのか。

〔答弁〕任意協議会で各自自治体がお互いに対等な立場で議論するため、同じ委員数でなければいけないと判断した。

〔質問〕合併の方式や期日

に関して、任意協議会にはどのように提案するのか。

〔答弁〕合併方式は首長会議で編入合併と確認している。任意協議会の中では合併方式小委員会に付託して審議していただく予定で、首長会議での協議結果も資料として提出する考えである。また、合併期日は首長会議で十九年度の早い時期

と確認しているが、電算の事務処理で一年から一年半の期間が必要で、その進み具合で決まる。

〔質問〕過去に一市六町の合併が破綻した原因は、都市計画の線引きと土地改良事業の農家負担の問題があった。これは簡単に解決できないのではないか。

〔答弁〕久保田町、東与賀町ではすでに住民説明会を

開催され、編入合併や都市計画の問題もすっかり説明されている。川副町でも同様の説明会を開催する予定と聞いており、任意協議会設置前に首長会議などで、各議会や住民との認識がずれないようにしていく。

〔審査結果〕全ての議案について原案を可決または承認すべきものと決定。

常任委員会

手数料条例の一部を改正する条例について

〔説明〕図書館の利用カードの再交付時に、一件百円の手数料を九月から徴収する。またリライトカードに変更し、書名と返却日を記載できるようにしたい。

〔質問〕書名を記載することで、本を借りるときに心理的な規制がかかるおそれがある。図書館関係の市民団体などとともに、もう少し

し検討が必要ではないか。

〔答弁〕カードには本人の氏名は記載されないもので、紛失しても誰のカードかわからないし、自分で管理すれば人に見られることはない。図書館の管理上の問題や市民の方の利便性などを含め、総合的に判断した。

〔意見〕一時的にカードを忘れた場合などでの貸し出しをやめるということだが、この点についても、もう少し検討をしてほしい。

入院時食費標準費のうち、標準負担額を助成の対象外とする改正について

〔説明〕県がこの助成を七月から補助金の対象外とすること、標準負担額は入院時でなくても当然必要になる食費相当額であることから、市としても助成対象外としたい。周知期間を設け、八月診療分から適用したい。

重度心身障害者に対する医療費の助成について

〔説明〕一カ月五百円を本人負担とする改正を行う。

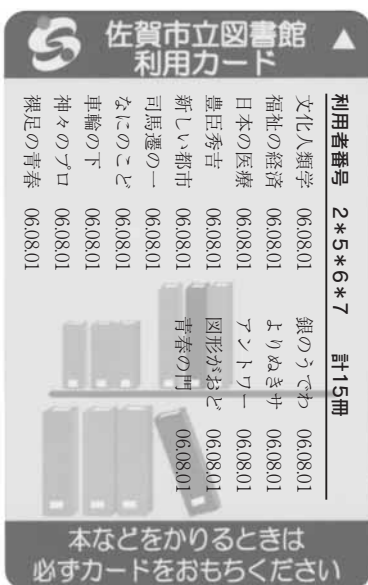
〔質問〕算定根拠は何か。

〔答弁〕県が実施したアンケートの結果や、ひとり親家庭等医療費助成制度が五百円の定額負担であること等を踏まえ、決定した。

〔審査結果〕第九九号議案 一般会計補正予算中、重度心身障害者医療助成費、ひとり親家庭等医療助成経費及び乳幼児医療費助成事業の減額分を予備費から組み

替える修正案が出され、賛成少数で否決すべきものと決定。また、第九九号の原案、第一二二号、第一一六号、第一一七号及び第一一八号議案については賛成多数で、その他の議案につい

ては、全会一致で原案を可決または承認すべきものと決定。受理番号三及び受理番号四の請願については、賛成少数で不採択とすべきものと決定。



リライトカード（予定）

※2 リライトカード [rewrite card]

カードの表面に文字を印字することができ、書き換えが可能なカード。リーダに差し込むことにより、それまで書かれていた文字を消去し、新たな文字を印字することができる。ポイントカード等、様々な用途に利用されている。

経済企業

佐賀市交流センターの指定管理者の指定について

〔質問〕 エスプラッツ三階にある佐賀市交流センターの指定管理者の指定の期間は一年間となっているが、現在検討しているエスプラッツの活用策との関係で、今後、指定管理者を変更す

ることはあるのか。

〔答弁〕 交流センターはエスプラッツのオープン当初から三階に設置しているが、今年三月に佐賀市が一階から三階までを財産取得し、施設全体の活用策を検討しており、その中で、交流センターはこれまでどおり市民の皆様にご利用していただきたいと考えている。現在は、佐賀市文化振興財団に

管理を委託しているが、今後はトータルで運営できる

管理者の是非も含めて検討しており、期間を一年としているが、検討の結果、現在の管理者に引き続き管理をしてもらうこともありうることは考えている。

〔質問〕 現在の管理者について、利用者からの苦情は。

〔答弁〕 現在まで、市に苦

情はきていない。しかし、今回改めて指定管理者として

指定する以上は、十分チェックを行っていく。

水道局事業会計補正予算について

〔質問〕 人件費関係の減額に関連し、十四名の人員削減は具体的にどう整理を行ったのか。

〔答弁〕 四月一日に、組織

機構の見直しで総務課、経理課、工務課、浄水課に係

の統合を行い五名削減。事務事業の見直しとして、緊急時の工事での材料支給を、緊急備蓄材と入手困難な特殊製品にしたことにより、経理課用度管財課の廃止。さらに、旧大和町との業務統合により合わせて七名の削減。役職の改廃で二名の削減を行っている。

〔質問〕 大和事務所の窓口を廃止したのか。

〔答弁〕 三月までは、大和事務所で検針から料金調定、収納まですべてを行っていたが、四月からは業務の統合により純粹に窓口業務だけを残している。

常任委員会

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例について

〔説明〕 地区計画で規定できる十一項目のうち、兵庫北地区計画は五項目を選択。うち三項目を条例化。

〔質問〕 建築物・地盤の高さ制限はあるのか。

〔答弁〕 建築物は地区計画で規定していないが、地区内の一部に第一種低層住居専用地域があり十層制限。地盤高は条例では規定してな

建設環境

いが、隣接地より高くならぬよう地区計画で規定。

背振共同塵芥処理組合の規約変更について

〔質問〕 諸富町・三瀬村のごみも、市の清掃工場で処理した方が効率的。費用負担はいつまでも続くのか。

〔答弁〕 ごみ処理能力には問題ないが、建設時の地元との協定では旧市のごみしか搬入できない。組合の運営も市が抜けた場合費用の問題が生じるので現時点ではなんとも言えない。

〔意見〕 清掃工場周辺の地元配慮した協議を願う。

農業集落排水事業（蓮池地区）処理施設建設工事（機械・電気）請負契約の締結について

〔意見〕 落札率五二・九七%と大変安く落札している。受注業者による労務費支払い、下請業者への対応を監督していただきたい。

下水浄化センターN.O. 7水処理（機械・電気）増設工事請負契約の締結について

〔質問〕 前回から入札方法を変えた理由は。

〔答弁〕 前はライセンスが必要な工法の割合が約六割を占めた。今回は約二五%で従たる工事と判断し条件付一般競争入札とし門戸を開いた。

〔質問〕 ライセンスのない受注業者が工事できるのか。

〔答弁〕 受注業者から確実に施工するとの報告があり信用している。本契約後、約三週間以内に施工計画書の提出があるので確認したい。

〔要望〕 今後について、特に施工計画書提出時点での経過報告を議会にすること。

〔審査結果〕 第一四四号については賛成多数で、その他の議案について原案を可決すべきものと決定。



一般質問

「市政ここが聞きたい」

行・財政

北部地区 難視聴者対策



吉川 隆

①三瀬村や大和町松梅地区に富士町の有線テレビを共有できないか②富士町と大和町松梅地区、三瀬村を含めたデジタル化及び富士町へのブロードバンド化への対策③対策費用、計画、スケジュールは。

①三瀬村や大和町松梅地区に富士町の有線テレビを共有できないか②富士町と大和町松梅地区、三瀬村を含めたデジタル化及び富士町へのブロードバンド化への対策③対策費用、計画、スケジュールは。

①富士有線テレビは地上波デジタル対応では

南部三町との合併は 反省点を生かせ



福井 章司

①首長会議の合意点や合併後の姿は②前に協議会が壊れた反省点は③線引き問題等調整ついたか④人口や高齢化、財政予測は⑤三町の振興策どう配慮するか⑥重点事業で空港の扱いは⑦市民意識をどう高めるか。

人口は一七％、面積は二一％の増②三町と対等な立場で十分な協議を行う③調整は難しいが解決できない問題ではないとの認識。今後十分に協議を行う④人口等は十七年度国勢調査数値で推計し、財政計画は十八年度当初予算及び中期財政計画により作成中⑤市の重点プロジェクトを南部地域にも設定⑥重要な位置付けとすべきものと認識⑦住民説明会・広報誌・ホームページで広報を行う。

「経営戦略会議」 の機能を問う



堤 正之

行財政改革の一環として設置された「経営戦略会議」の人員構成や運営方法を問う。「行政改革推進会議」との機能分担は。行政改革の有効な手法と考えるが、その目的と期待する効果について問う。

経営戦略会議は市長・助役・収入役・教育長ほかすべての部長等で構成した実効性ある内部機関。行政改革推進会議は市民の代表者で構成され、社会情勢の変化等に即した意見を求める諮問機関。現在策定中の総合計画に反映するため、市民アンケートを実施し市民の評価を受ける。経営戦略会議では部・課の所属にとられず、施策に携

ITを活用した 市政づくりについて



平原 嘉徳

今回の合併により地域格差を生じないまちづくりの構築が必要。周辺住民にとつて、ぶんぶんテレビの延長接続は大きな要望である。とりわけ地上デジタル放送に伴う難視聴地区の解消にもつなげることから至急取り組むべきでは。

拡大するかなどは、まず佐賀シティビジョン株式会社で事業の採算性等から慎重に検討されるべきものと考えている。しかし、合併後の新市で情報通信格差を是正するということは重要課題であると認識をしているため、厳しい財政状況ではあるが、財政確保や整備手法を検討し、公平公正な観点で市全体として計画的、段階的に整備していく必要があると考えている。

答弁 経営戦略会議は市長・助役・収入役・教育長ほかすべての部長等で構成した実効性ある内部機関。行政改革推進会議は市民の代表者で構成され、社会情勢の変化等に即した意見を求める諮問機関。現在策定中の総合計画に反映するため、市民アンケートを実施し市民の評価を受ける。経営戦略会議では部・課の所属にとられず、施策に携

- ◇市の三役、特別職の退職金の考え方について
- ◇交通事業の経営改革と今後の方向性について
- ◇遊休地とみなされる市有地の活用
- ◇地場産業育成と入札制度のあり方
- ◇人口定住対策について
- ◇認可されたガス料金値上げについて

※3 ブロードバンド(broadband) インターネット通信を行う際に、広域帯を利用してデータ通信を高速かつ大量にやりとりすること、またはその通信回線。